

ファームウェアアップデートによる追加機能のお知らせ

レポートファイル作成

設定や状態を記録する「レポートファイル」が作成できるようになりました。

設定画面での操作

PJP-MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 管理者用メニューの「保守」
- ▶ レポートの作成の「実行」

ガイド音の音量調整

ガイド音の音量調整ができるようになりました。

設定画面での操作

PJP-MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 管理者用メニューの「会議設定」
- ▶ ガイド音の設定の「変更」にて音量を「MAX」(大、初期設定)、「MID」(中)、「MIN」(小)から選択します。

全参加拠点の退室による予約会議の自動終了

会議の終了予定時刻前に全参加拠点が退室した場合でも、会議を終了させることができますようになりました。

設定画面での操作

PJP-MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 管理者用メニューの「会議設定」
- ▶ 自動終了の設定の「変更」にて予約開催の時間内に全員退室した場合 「自動終了する」または「自動終了しない」を選択し、自動終了する場合、全員退室後に自動終了するまでの「保護時間」(秒、初期設定10秒) を設定します。

で注意

予約会議以外の会議(予約会議でも延長時間中の場合)については、本設定に関わらず自動終了機能が有効となります。

SIPセッションタイマーのタイムアウト時間制御

本機のSIP サーバーを使用した通話について、SIP セッションのタイムアウト時間の制御ができるようになりました。これにより拠点の異常状態を検出するまでの時間を早くすることができます。

設定画面での操作

PJP-MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 管理者用メニューの「会議設定」
- ▶ 会議に関するタイマー値の設定の「変更」にてSIPセッションタイマーの最大値 「指定する・秒数」または「指定しない」(初期設定)を設定します。

ご注意

- 異常状態を検出するまでの時間を短くするとネットワークへの負荷が増加します。ご使用になられるネットワーク環境に応じて設定してください。
- 本機のSIP サーバーを使用した通話について、拠点の端末に設定したタイムアウト時間が本設定値より大きかった場合、セッションタイムアウト時間としては本設定値が適用されます(小さかった場合は拠点の端末が指定した値が適用されます)。
- 最終的にセッションに本設定値が適用されるかどうかは、着信側端末がそれを受け容れるかどうかによって異なります。

会議参加端末の再接続

会議開催中に、全参加端末を接続し直す「再接続」機能を追加しました。GUIからの操作、または、参加拠点が「再接続特番」に対して発信することで「再接続」機能が動作します。

設定画面での操作

PJP – MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 「会議状況」より開催中の会議を選択
- ▶ 現在開催中の会議より拠点間を接続し直す「再接続」を選択します。

再接続特番の設定と操作

PJP – MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 管理者用メニューの「会議設定」
- ▶ 特番の設定の「変更」にて会議中に全拠点間を接続し直す 「指定する・9999 (初期設定)」または「指定しない」を設定します。
- ▶ 「指定する」設定の場合、会議開催中に参加拠点より特番にダイヤルすると「再接続」機能が動作します。

ご注意

- 実行時点ですでに会議から途中退室していた拠点についても、再接続の対象となります。
- 途中退室した拠点が会議と関係のない拠点と通話中の場合は、その通話が切断されて会議に再接続されません。
- ネットワーク的に到達不能な拠点があるなどの理由により、すべての拠点が再接続できない状態が継続した場合は、全切断から15分後に会議自体が自動終了します(その前に会議の予定終了時刻になった場合は、その終了時刻に終了します)。
- 再接続の際に、拠点側のPJPの接続モードはチェックされません。会議から切断されてから再接続されるまでの間に異なる接続モードに手動で変更した場合は、再接続に失敗することがあります。
- 再接続の際にネットワーク的に到達不能な拠点があった場合は、その拠点を除く拠点のみで会議の接続トポロジを構成します。その際に会議から外された拠点についても、会議開催中にネットワーク的に復帰すれば、自動的に再接続されます。

会議参加拠点の強制退出

会議開催中に参加中の拠点を、強制的に退室させる機能を追加しました。

設定画面での操作

PJP – MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 「会議状況」より開催中の会議を選択
- ▶ 参加拠点一覧より退室させたい拠点の「切断」を選択します。

💡 ヒント

退室させられた拠点は、設定画面より招集し直すか、その拠点から会議室番号に発信することで会議に再接続できます。

QoS対応

SIP, RTPパケットにToS値、CoS値を設定できるようになりました。

設定画面での操作

PJP – MC24 設定画面より以下の順で選択します。

- ▶ 管理者用メニューの「システム設定」
- ▶ QoSの設定にて使用する機能の「変更」を選択
 - ToSの設定**：SIP およびRTP パケットを送信する際に、IP ヘッダのTOS フィールドの上位3ビットにプライオリティを設定します。「使用しない」(初期設定)または「使用する・プライオリティ」を設定します。
 - CoSの設定**：SIP およびRTP パケットを送信する際に、Ether フレームにタグを付加してプライオリティとVLAN-ID を設定します。「使用しない」(初期設定)または「使用する・プライオリティ・VLAN-ID (0-4095)」を設定します。